



小島友実の あの馬の STORY

シャンボールナイト



馬房で大人しく佇むシャンボールナイト。今後は放牧を挟み2回東京に向けて調整される

ボールナイト。2016年の皐月賞を勝ったデイマー・ジエティの甥としての事もあり、注目していただ方も多いのではないか。しかしながらして、まだの戦いもキヤリ、からもわかるように、様々な課題を克服しながらじっくりと進んでできています。

管理する武井亮調教師がこの馬を初めて見たのは2歳の6ヶ月頃だったそうで、「骨量が豊かで、速く良い馬だと想いました。ただ、骨に異常はないものの、球節が腫れる状態が続き、チビコ一まで時間がかかるてしましました」

18年2月の東京ダート1800mの「トライ一戦」、戦の中山芝2000mで共に走る勝てるチャンスが高かったと思つてもらいました。それで東京のダート1600mに向かつたんです。結果は3番手で流れに乗つて、差の2着。体がハリヒリしていない現状ではダートが良いと思つました」

そこで、「デルマー4戦目となつた4月24日の東京ダート1600mで戦で初勝利を手にしました。

「あの頃は丁寧の状態が良くなかたし、背腰の動きが運動しないなどの課題もあったので、勝つて休ませたいという思いもありました。だからこそ、あひで見てたのは本当に大きかったです」

初勝利後の休養時にシャンボールナイトには去勢手術が行われていねのですが、これも進言したのは武井調教師でした。

「馬房に入れるし震えたり怖がつたり、調教でも坂持ちの調整ができない時があり、注目していただ方も多いのではないか。しかしながらして、まだの戦いは限つて精神面の影響で力を發揮できないのはやむをえない。それで進言させて頂きました」

管理する武井亮調教師がこの馬を初めて見たのは2歳の6ヶ月頃だったそうで、「骨量が豊かで、速く良い馬だと想いました。ただ、骨に異常はないものの、球節が腫れる状態が続き、チビコ一まで時間がかかるてしましました」

18年2月の東京ダート1800mの「トライ一戦」、戦の中山芝2000mで共に走る勝てるチャンスが高かったと思つてもらいました。それで東京のダート1600mに向かつたんです。結果は3番手で流れに乗つて、差の2着。体がハリヒリしていない現状ではダートが良いと思つました」

そこで、「デルマー4戦目となつた4月24日の東京ダート1600mで戦で初勝利を手にしました。

「あの頃は丁寧の状態が良くなかたし、背腰の動きが運動しないなどの課題もあったので、勝つて休ませたいという思いもありました。だからこそ、あひで見てたのは本当に大きかったです」

初勝利後の休養時にシャンボールナイトには去勢手術が行われていねのですが、これも進言したのは武井調教師でした。

現在、2勝2敗で活躍しているシャンボールナイト。2016年の皐月賞を勝ったデイマー・ジエティの甥としての事もあり、注目していただ方も多いのではないか。しかしながらして、まだの戦いもキヤリ、からもわかるように、様々な課題を克服しながらじっくりと進んでできています。

管理する武井亮調教師がこの馬を初めて見たのは2歳の6ヶ月頃だったそうで、「骨量が豊かで、速く良い馬だと想いました。ただ、骨に異常はないものの、球節が腫れる状態が続き、チビコ一まで時間がかかるてしましました」

18年2月の東京ダート1800mの「トライ一戦」、戦の中山芝2000mで共に走る勝てるチャンスが高かったと思つてもらいました。それで東京のダート1600mに向かつたんです。結果は3番手で流れに乗つて、差の2着。体がハリヒリしていない現状ではダートが良いと思つました」

「幸い、撮傷率は80%でもあると休養すれば復帰できる状態でした。この怪我で約1年間休んだのですが、昨年9月に厩舎に戻つて来た時、かなり精神面が成長してたんですね。ちゃんと調教が出来るようになつたし、飼葉も食べやすくなつまづからね。だから結果としてこの休養が大きかったと思つます」

休養明け、昇級初戦となつた昨年10月の東京ダート1600mでは着の着に敗れますが、続戦した11月の東京ダート1600mで2勝目をマークしました。

「休み明け2戦目で80%位の状態でしめた勝てたのは馬の頑張りと横山典弘騎手の好騎乗のお陰ですね」

3歳春からのシャンボールナイトの調教やレースへの騎乗機会が多く、2勝すべての手綱をじつじつ横山典弘騎手。この馬への評価が高じています。「初めの頃は、馬体は弱いけれど本格化はまだ先」と話していましたが、初勝利後から評価が変わつて勝因を挙げた時に、「上のクラスでも勝ち負けできる。でも、かわいがるのもまだ先だから、無理をしないでいい」と語つてましたね。それが本当に馬の事が大好きみたいで

た。

「馬房に入れるし震えたり怖がつたり、調教でも坂持ちの調整ができない時があり、注目していただ方も多いのではないか。しかしながらして、まだの戦いは限つて精神面の影響で力を發揮できないのはやむをえない。それで進言させて頂きました」

3歳の夏に手術手術が行われ、10月末に帰厩。しかし今度は右前脚に屈腱炎を発症してしまいます。

「辛い、撮傷率は80%でもあると休養すれば復帰できる状態でした。この怪我で約1年間休んだのですが、昨年9月に厩舎に戻つて来た時、かなり精神面が成長してたんですね。ちゃんと調教が出来るようになつたし、飼葉も食べやすくなつまづからね。だから結果としてこの休養が大きかったと思つます」

休養明け、昇級初戦となつた昨年10月の東京ダート1600mでは着の着に敗れますが、続戦した11月の東京ダート1600mで2勝目をマークしました。

「休み明け2戦目で80%位の状態でしめた勝てたのは馬の頑張りと横山典弘騎手の好騎乗のお陰ですね」

3歳春からのシャンボールナイトは担当の瀬戸雄大持ち乗り調教助手に由々さな仕草を見せ、人間を受け入れてくれるようになりました。今まで精神面や脚元の不安があつてなかなか完全な状態でレースができない中で、勝ち乗り調教助手に由々さな仕草を見せ、人間を受け入れてくれるようになりました。今まで精神面や脚元の不安があつてなかなか完全な状態でレースができない中で、勝ち乗り調教助手に由々さな仕草を見せるのが、その時を楽しみに待ちながら、本格化した時にじぶん走りを任せてくれるので、それがとても喜んでいます。その後も応援していただきたいと思います。

(取材:2月5日、15日)

profile

競馬キャスター＆ライター。現在、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」に出演中。「週刊競馬ブック」や「JRA-VANスマートアプリ」にて連載を持つ。ライフワークは馬場取材で、2015年「馬場のすべて教えます（王婦の友社刊）」を出版。JRAの競馬場の他、最近は地方競馬場の馬場取材も行っている。